

工事完成通知書 作成上の留意点

- ※ 様式については、伊勢崎市ホームページ>産業・ビジネス>入札・契約・検査>入札・契約情報>要綱・要領・様式等のデータをダウンロードして使用する。
- ※ 受注者が工事の履行完了の届け出をしようとするときは、工事完成通知を提出する。尚、提出期限は契約履行期限を越えてはならない。

令和 年 月 日

工 事 完 成 通 知 書

参考

(宛先)伊勢崎市長

住 所
受注者
氏 名

印

基本的に工期末日だが、当初工期末より前に完成して通知書を提出する場合は、監督職員の指示により記入する

次の工事は、令和 年 月 日完成しました。

工 事 名	契約書に記載されている工事場所
工 事 場 所	伊勢崎市 町 番 号 番地・地内
請 負 代 金 額	金 円
契約締結年月日	令和 年 月 日

摘 要

契約書に記載されている契約日

工事記録写真撮影要領

作成上の留意点

※目的

工事記録写真は次の項目の記録として撮影されたものである。

- (1) 工事着手前の記録
- (2) 工事進捗状況の記録
- (3) 施工順序の確認及び隠蔽部分の記録
- (4) 使用材料の規格表示等の確認
- (5) 工事完了の証明
- (6) 品質管理の記録
- (7) その他

上記写真の撮影に先立ち、撮影担当者を定め、写真の種別ごとに実施工程表に基づき、撮影箇所・時期・方法・撮影頻度等の計画表を作成し、他の工事担当者の協力を求め時期を失せぬよう充分注意する。

撮影方法

工事記録写真の撮影には、次の5項目に注意する。

- (1) 何を撮影するか
- (2) だれが撮影するか
- (3) どこで撮影するか
- (4) 何時撮影するか
- (5) どのように撮影するか

できるだけ工事記録写真撮影の経験者が、使い慣れたカメラで撮影することが望ましい。また記録写真であるから、それぞれの目的に応じて撮影した日・場所・箇所(その略図)・受注者名立合者名等を書き入れた記名板や、寸法を表示する添え尺を移し込んでおく。

①記名板

小黑板(500*600程度)を使用し、工事件名・撮影年月日・撮影箇所名・図示説明・立合者名等を記入したもの

②リボンロット

③箱尺

④テープ・折尺・ノギス・下げ振り等

写真の整理方法

撮影済みフィルムは、速やかに現像焼付け(又はカラー印刷)をし、点検整理する。

写真の大きさはサービスサイズ又は手札程度とする。

アルバムは、次の事項に注意の上現場事務所に常備しておく。

- (1) 工事着工前の写真、工事進捗状況写真及び完成写真は、工事着工前から完成まで経過が把握できるよう順序よく整理する。
- (2) 施工状況及び出来形写真は、アルバムにキープランを添付して、撮影箇所を明示し、説明を要する写真には説明書を添付して施工順序に従い系統立てて整理する。
- (3) 材料検収写真、品質管理写真は一括して順序よく整理する。
- (4) 参考写真は、それぞれの該当箇所に挿入し整理する。
- (5) アルバムの大きさはA4版とする。
- (6) アルバムは、脱着が出来る挿入式にする。

デジタルカメラを使用の際には、(5)(6)を次の様に読み替えるものとする。

(7) 印刷による場合はA4版サイズを標準とし、3枚の配置を原則とする。

(8) デジカメ使用の際には、竣工時にCD-Rにてデータを整理したものも提出すること。

なお、提出に際しては原則として撮影時オリジナルの有効画素数を推奨とするが、黒板の文字(撮影対象物)が確認できる画素数であれば圧縮しても問題ない。

(最低200万画素以上とする。)

その他撮影対象、枚数等は次ページからの「工事記録写真撮影要領」による。

工事記録写真撮影要領

第1節 出来形写真

1.1 工事着工前の写真

1. 工事着工前に工事現場全体の状況が判別できる写真を作る。工事現場が広範囲に及ぶ場合はつなぎ写真とする。
2. 工事完成までの関連づけの為、施工状況写真と同一位置から写真を撮影することが望ましい。

1.2 工事進捗状況写真

1. 工事の進捗状況を全体的に写すもので各々の施工段階ごとに、その都度写すことを原則とする。
2. 進捗状況は少なくとも月1回以上写すこととし、2. 1の工事着手前を同一位置より撮影する。
3. 工事標識・安全施設・防護設備・交通処理状況も判るような部分も撮影すること。

1.3 施工状況及び出来形写真

1. 明示困難な部分について、各種検査の検査者に立証できる撮影すること。
2. 施工状況写真は、山止め工法、くい打工法、鉄骨建て方等の施工状況及び工法を撮影する。
3. 出来形写真は、床堀りの深さ、地業の厚さ、基礎杭、基礎、擁壁等埋設されるもの、鉄筋配筋、電気・機械設備の配管等コンクリート打コンクリート打設により埋め込まれるもの、及び電気・機械設備の配管等で天井・壁仕上により見え隠れ部分で節毎の完了時を撮影する。
4. 出来形写真の撮影は、測定尺(折尺・箱尺・帯尺・ポール)等により被写体の形状・寸法が明確にわかる写真とする。
5. 斜め位置よりの撮影は、正確な寸法が得られないことがあるので避けること。
6. 測定尺の目盛りが、はっきりと読み取れるよう絞り、シャッター速度、カメラのつぶれを起こさないようにする。

1.4 材料写真の検収

工事に使用する材料のうち、使用後は形状・寸法の確認が出来ないものについては搬入時にする。(杭・PC桁・プレキャスト板・コンクリートブロック等)

第2節 品質管理写真

2.1 品質管理写真

設計図書に定められた性能基準及び施工段階での品質を保証するような部分は、撮影し記録に残しておくこと。

記録写真は、場外検査試験時、現場施工段階時があり、あらかじめ計画を立て関係者と協議しておくこと。

2.2 その他

1. 図面と現場が不一致であることを発見したとき、実測結果と共に資料として相違の確認できる写真であること。
2. 工事施工中に工事現場で災害・事故等が発生した場合は、大小にかかわらず撮影する。この写真が後日に原因究明・損害負担区分の判定等重要な資料となる。

第3節 写真撮影対象及び枚数の標準

下記に示す内容は標準的なもので、現場の状況・工事規模・難易などによりあらかじめ関係者と協議して、項目、内容、枚数等を決めておく。

3.1 建築工事

項目	撮影対象	撮影方法及び注意	撮影枚数	
工事着工前の写真	工事着工前の敷地全景	敷地の状況(高低差・立木・障害物)を示すもの	撮影箇所を変え5枚程度	
工事進捗状況	工事の進捗状況を示す全体	建物を含む現場仮設建物、足場、荷揚設備、安全管理等を示すもの	工事着工前の位置より5枚程度 月1回程度	
施工状況及び出来形測定写真	仮設工事	整地整理 仮設道路 ベンチマーク	伐開除根の状況 仕上げ圧、幅を示す 設置箇所を写す	2～5枚程度 40m毎に2枚 ヶ所毎に1枚
	土工事及び地業工事	根切りの状況	根切りの深さ・巾を示す	総堀4枚以上 布堀40m毎に1枚、 壺堀種別毎に1枚
		山止め工法	矢板・土羽打ち等種別に区分して示す	種別・箇所毎に1枚
		排水設備	排水溝・集水枡・ポンプ等	箇所毎に1枚
		残土処分 (場所指定の場合)	処分位置及び堆積方法を写す	堆積前・堆積後各1枚
		割ぐり砂利地業	各地業の張り立て厚さ・巾を示す	各種毎に1枚
		くい打工法	くい打機械を入れて撮影する	機種毎に1枚
		くい打継手工法	主として溶接の状況	種別毎に1枚
		ヤットコ	ヤットコを使用したくい打込みの状況を示す	種別毎に1枚
		打込み完了のくい	根徹底との関係を示す	種別毎に1枚
		くい頭の処理	くい頭の処理状況を示す	種別毎に1枚
	くい芯の精度	くい芯の精度の測定状況を示す	各列毎に1枚 又は種別毎に1枚	
	鉄筋工事	鉄筋の組立て	鉄筋の組立ての状況及びスペーサーを示す	コンクリート打設回毎に2～5枚
			基礎・柱・梁・床版・壁・庇・階段	各種別毎に1枚 ただし1種別が10ヶ所 以上の場合は10%
		開口部補強、柱梁定着部分、くい頭と基礎底版との定着部分	コンクリート打設回毎に2枚	

項目	撮影対象	撮影方法及び注意	撮影枚数	
施工状況及び出来形測定写真	コンクリート 工事	型枠の組立	組立て状況及び断熱材の貼付け状況	コンクリート打設回毎に2～5枚
		基礎の出来形	主要寸法及びGLよりの深さを示す	各種別毎に1枚
		土間コンクリートの養生	寒中コンクリート養生の状況	棟毎に1枚
	鉄骨工事	アンカーボルトの埋込み	アンカーボルトのねじ山保護の状況を示す	各種別毎に1枚
		柱底均し仕上	均し仕上の状況を示す	棟毎に3枚
		鉄骨建て方	建て方の機械を入れて撮影する	各節毎に3枚
		効力ボルト検査	締め付け検査の状況を示す	各節毎に3枚
		現場溶接工法	溶接機をいれて撮影する	棟毎に3枚
		コンクリートに埋め込まれる鉄骨	鉄骨及び鉄筋の組立て状況を示す	SRCの場合 各節毎に3枚
	組積工事	コンクリートブロック積工法	鉄筋の溶接及び定着状況を示す モルタルの充填の状況を示す	200㎡毎に1枚 200㎡毎に1枚
		壁まぐさ	主要部分の型枠・鉄筋の状況を示す	各階2枚
		プレキャストコンクリート	取り付け状況を示す	各階毎に2～5枚
		ALC版	取り付け状況を示す	各階毎に2～5枚
		防水押さえレンガ積	積み立ての状況を示す	50mに1枚
		耐火レンガ積	積み立ての状況を示す	種別毎に2枚
	防水工事	防水層の下地	下地の状況を示す	屋外防水 500㎡に1枚 屋内防水 各階毎に1枚
		防水層の継手	継手及び重ね長さを示す	屋外防水 500㎡に1枚 屋内防水 各階毎に1枚
		防水層の立ち上り	増し張り、コーキング状況	屋外防水 50㎡に1枚 屋内防水 各階毎に1枚
		結合材の塗布	塗布の状況を示す	屋外防水 各層毎に1枚 屋内防水 各階各層毎に1枚
	石工事	取付金物	鉄筋・緊結線及び引き金物を示す	種別毎に1枚
		モルタル充填	目地の養生と、つぎとろの状況を示す	種別毎に1枚
		石材加工	石材の厚さを示す	種別毎に1枚

項目	撮影対象	撮影方法及び注意	撮影枚数	
施工状況及び出来形測定写真	タイル工事	下地モルタル	下地モルタル塗りの状況を示す	各種別毎に1枚
		タイル張り	タイル張り状況を示す	各種別毎に1枚
	木工事	床組	継手・仕口及び組立ての状況を示す	各階毎に1枚
		間仕切	仕口・ホルト締め・組立ての状況を示す	200㎡毎に1枚
		窓出入口	取付状況を示す	各種別毎に2～5枚
	屋根工事	ふきかた	つり子の状況を示す	500㎡に1枚
	金属工事	壁下地	下地の状況を示す 出入口補強	200㎡毎に1枚 各毎に2枚
		天井下地	下地の状況を示す 開口部補強	200㎡毎に1枚 30箇所毎に1枚
	左官工事	亀裂防止の処置	平ガラス張り 下地の状況を示す	種別毎に200㎡に1枚
		床・壁・天井	工程等を示す	各階毎に3～5枚
		塗とろ詰	窓・出入口廻りのとろ詰	各階、鋼製・木製別に2枚
	建具工事	木製建具	フラッシュ扉の骨組を示す	1枚
	塗装工事	塗装部	下塗り、中塗り、上塗り等の工程状況	種別毎500㎡に1枚
	吹付工事	吹付仕上	吹付の状況を示す	種別毎500㎡に1枚
	内装工事	材種	施工中	材種毎に1枚
雑工事				
PC工法による工事	PC板の組立	組立ての機械を入れて撮影する	各階毎に3枚	
	溶接接合	溶接接合の状況を示す	各階毎に3枚	
材料検収写真	不可視部分に使用する材料(鉄筋・くい等)	規格・製造業者・商標等を入れて撮影する	主要材料毎に1枚	
参考写真	図面と現地とが不一致の工事	設計変更又は現場処理により図面と現地が不一致の場合、証明資料として		
	災害	災害が生じた場合、その資料とするため		
竣工写真	建物の全景	着工前の写真と同位置	設計図に特記	
	室内	建物内部主要部分	設計図に特記	

項目	撮影対象	撮影方法及び注意	撮影枚数
品質管理写真	試験くい打	貫入状況を示すもの	箇所毎に1枚
	地耐力試験	試験状況を示すもの	箇所毎に2枚
	くい载荷試験	試験状況を示すもの	箇所毎に2枚
	スランプ試験	試験状況を示すもの	打設回毎に1枚
	生コン工場	JIS工場	工事毎に1枚
	PC板製作工場	PC板製作状況を示すもの	工事毎に3～5枚
	遮音性能試験	試験状況を示すもの	記録がわかる枚数
	振動試験	試験状況を示すもの	記録がわかる枚数
	タイル剥離試験	試験状況を示すもの	記録がわかる枚数
	場外検査及び試験		監督職員の指示による
	その他		監督職員の指示による

3.2 土工事

項目	撮影対象	撮影方法及び注意	撮影枚数	
工事着工前の写真	工事着工前の敷地全景	敷地の状況(高低差・立木・障害物)を示すもの	撮影箇所を変える。または道路等の場合は起点から終点に向かって順に撮る。2～5枚	
		ポール等を立て工事位置(範囲又は道路の中心線方向)を示す		
工事進捗状況	工事の進捗状況を示す全景	安全施設・仮設物等を含めた工事現場を示すもの	工事着工前の位置より5枚程度 月1回程度	
施工状況及び出来形測定写真	仮設工事 (特記仕様書等で指定したものに限る)	伐開除根 工事用道路 仮設物(山止等)	伐開除根の状況を示す 仕上厚・幅を示す 仮設物を示す	2～5枚 40毎に1枚 箇所毎に2～5枚
	土工	切土・盛土	法面・整形・法ごしらえの状況	40m毎または 面積1000㎡毎に1枚
		路床入換え	掘削完了時、入換え後	40m毎または 面積1000㎡毎に2枚
		残土処分 (場所指定の場合)	処分位置及び堆積方法を写す	拾土前・拾土後各1枚
	砕石基礎		仕上厚・幅を示す	40m毎または 面積1000㎡毎に1枚
	基礎ぐい	くい打功法	くいの打込状況	材種毎に1枚
		くい打継手工法	主として溶接の状況	種別毎に1枚
		ヤットコ	ヤットコを使用したくい打込みの状況を示す	種別毎に1枚
		打込み完了のくい	根徹底との関係を示す	種別毎に1枚
		くい頭の処理	くい頭の処理状況を示す	種別毎に1枚
		くい芯の精度	くい芯の精度の測定状況を示す	各列毎に1枚 又は種別毎に1枚
	石積(張) ブロック積(張)		厚さ(底部・天端)・法・長さを示す	40m毎に1枚
	コンクリート基礎		幅・高さを示す	40m毎に1枚
	コンクリート控壁	コンクリート	底部・幅・厚さ・高さ・天端幅(控壁幅)を示す	40m毎に3枚
		鉄筋の組立て	底板・前壁(控壁)の配筋状況	1ブロック毎に2～3枚
	ボックスカルバート類	コンクリート	幅・厚さ・高さを示す	1ブロック毎に1枚
		鉄筋の組立て	底板・側壁・丁版の配筋状況	1ブロック毎に3枚
		継手	止水板等の取付状況	3ブロック毎に1枚
	管きょ類	コンクリート	幅・厚さを示す	40m毎に1枚
		施工状況		各系統毎に2枚

項目		撮影対象	撮影方法及び注意	撮影枚数
施工状況及び出来形測定写真	塗装工	路床	仕上げ状況を示す	40m毎に1枚
		下層路盤	厚さを示す	40m毎に1枚
		上層路盤 (粒度調整等)	厚さを示す	40m毎に1枚
		表層、基礎 (コンクリート版含む)	施工状況を示す	4枚程度
材料検収写真		不可視部分に使用する材料(鉄筋・くい等)	規格・製造業者・商標等を入れて撮影する	主要材料毎に1枚
品質管理写真	試験くい打	貫入状況を示すもの	箇所毎に1枚	
	路床締固め度試験	試験状況を示すもの	工事毎に1枚	
	下層路盤 締固め度試験	試験状況を示すもの	工事毎に1枚	
	上層路盤 締固め度試験	試験状況を示すもの	工事毎に1枚	
	その他		監督職員の指示による	
その他	図面と現地とが不一致の工事	設計変更又は現場処理により図面と現地在不一致の場合、証明資料として		
	災害	災害が生じた場合、その資料とするため		

3.3 機械設備工事

項目		撮影対象	撮影方法及び注意	撮影枚数
施工状況及び出来形測定写真	配管工事	スリーブ・インサート及び箱入れ	コンクリート打設前で補強筋等の状況を示す	各階毎に3～5枚
		隠蔽される配管	コンクリート埋め込み部分及び天井裏の配管状況を示す	各階・種別毎に500㎡毎に3～5枚 ただし便所配管は配管完了時に各階すべて
		試験	配管の水圧・空気圧等の試験状況を示す (各種試験機の計器)	
	ダクト工事	スリーブ・インサート及び箱入れ	コンクリート打設前で補強筋等の状況を示す	各階毎に3～5枚
		内貼り	消音材等の内貼り施工状況を示す	10ヶ所毎に1枚
	地中埋設物	埋設配管	防食処理・埋設深さ・配管位置を示す	各系統毎約30m毎に1枚
		枅類	掘削・地業・コンクリートの寸法が判明するよう撮影する	10ヶ所毎に1枚 (掘方・地業・コンクリート)
		既設管(枅)へ接続	既設管よりの分岐の状況を示す 既設枅置への接合の状況を示す	各系統毎に1枚
	廃水処理施設 (一般汚水・実験廃液を含む)	外観(埋め戻し前)	根切・地業・コンクリートの寸法が判明するよう撮影する	種別毎3枚 (掘方・地業・コンクリート)
		内部装置 (特に不可視部分)	内部装置の施工状況を示す	5枚程度
	地下貯油層	油層	消防署の立会検査状況を示す 根切・地業・コンクリートの寸法が判明するよう撮影する	検査の都度3枚 種別毎3枚
	被覆工事	施工状況	配管・ダクト・機器の各工事の施工状況を示す	各階毎に3～5枚
	基礎工事	ボイラー等の機器基礎の施工状況	根切・地業・コンクリートの寸法が判明するよう撮影する	種別毎3～5枚 (掘方・地業・コンクリート)
	さく井工事	施工状況	指定地盤面を示す(施工前)	1箇所に1枚
			井側管の接合箇所	1箇所に1枚
			井側管の垂直設置状況	1箇所に1枚
小砂利充填状況			1箇所に1枚	
電気工事		3. 4電気工事による		
材料検収写真	不可視部分に使用する材料(鉄筋・くい等)	規格・製造業者・商標等を入れて撮影する(保温材料は開棚等)	主要材料毎に1枚	

項目	撮影対象	撮影方法及び注意	撮影枚数
品質管理写真	試験	配管の水圧・空気圧等の試験 状況を示す (各種試験機の計器)	係員の指示による
	コンクリートの スランブ試験		打設回毎に1枚
その他	特殊設計	特定材料等に類するものの施 工状況	3枚程度
	工事検査		係員の指示による
排水工事	1. 管敷設記録	基礎及び砂堀戻し等の状況	60㎡につき1箇所
	2. 柵設置記録	基礎及び立上り形状状況	60㎡につき1箇所
外 構 整 備 工 事			
	注) 砂埋め戻しのかぶり厚も写すこと		
	植栽工事	1. 主要機の根回し状 況 2. 根穴掘削状況 3. 客土、施肥の状況	主要箇所

3.4 電気設備工事

項目		撮影対象	撮影方法及び注意	撮影枚数
施工状況及び出来形測定写真	配管工事	隠蔽埋込配管	コンクリート埋め込み部分及び天井裏の隠蔽配管状況	各階500㎡毎に1枚
			配管位置BOX及びボンディングの状況を示す	各階500㎡毎に1枚
			インサート等の取付状況	各階500㎡毎に1枚
			配管支持材の取付状況	各階500㎡毎に1枚
			壁等の貫通箇所の補強・補修状況	各階500㎡毎に1枚
			位置BOX内の電線接続状況	各階500㎡毎に1枚
			プルBOX内の電線接続状況	各階500㎡毎に1枚
		配管の耐火処理	防火区画を貫通する配管の耐火処理状況	該当箇所毎に1枚
			非常照明配管の耐火処理状況	該当箇所毎に1枚
		メタルラス張等と金属配管と絶縁	メタルラス張・金属張等と金属配管、ボックス等との絶縁の状況を示す	該当箇所10ヶ所当り1枚
		特殊場所の配管	ガス・蒸気・粉塵危険場所の防爆処理状況	該当箇所10ヶ所当り1枚
			湿気が多い場所の防湿・防滴処理状況	該当箇所10ヶ所当り1枚
			腐食性ガス等のある場所の耐食処理状況	該当箇所10ヶ所当り1枚
		プルボックス・照明器具・実験盤・分電盤・端子盤・制御盤等の取付	埋め込み・隠蔽・露出部分のボンディング、配管の状況	各階5枚
	埋め込み形わくの取付・補強・補修状況		各階3枚	
	器具工事	照明器具等の支持	躯体からの照明器具等の支持	各階500㎡毎に1枚
			埋め込み補強の状況	各階500㎡毎に1枚
	接地工事	第1・2・3種及び特別第3種接地	接地極の寸法、埋設状況及び極板と導線の接続の状況を示す	箇所毎に1枚
			接地線の布設状況を示す	箇所毎に1枚
	架空配線工事	電柱・支線・支柱の根入れ、根かせの取付	根入れ及び埋設状況を示す	5箇所に1枚

No. 45

鍵一覧表作成上の留意点

※別紙 [鍵一覧表] を添付する

●鍵箱にはキープラン及び [鍵一覧表] を透明ケースに入れて納める。

鍵 引 渡 書

令和 年 月 日

(宛先) 伊勢崎市長

完成日を記入
※工事完成通知書に記載した年月日

所 在 地

受注者 商号又は名称

代表者氏名

印

下記工事の鍵を別紙一覧のとおり引渡します。

記

工 事 名 称

工 事

No.46

備品目録書 作成上の留意点

※別紙 [備品一覧表] を添付する

備品目録書

令和 年 月 日

(宛先) 伊勢崎市長

完成日を記入
※工事完成通知書に記載した年月日

所在地

受注者 商号又は名称

代表者氏名

印

下記工事の備品を別紙一覧のとおり引渡します。

記

工事名称

工事

No.47

官公署・事業会社の許可書 作成上の留意点

※別紙 [官公署・事業会社の許可書類の一覧表] を添付する

※許可書類の鏡の写しを添付する。

●原本は、原則として書籍用ダンボール箱に納めて提出する。（小口に書類項目を記入する）

官公署・事業会社の許可書

令和 年 月 日

(宛先) 伊勢崎市長

完成日を記入
※工事完成通知書に記載した年月日

所在地

受注者 商号又は名称

代表者氏名

印

下記工事の官公署・事業会社の許可書類は別紙一覧のとおりです。

記

工事名称

工事

No.48

検査試験成績書 作成上の留意点

※別紙「検査試験成績の一覧表」を添付する。

※各工事別に設計図書で定められた性能を証明するデータを提出する。

検査試験成績書

令和 年 月 日

(宛先) 伊勢崎市長

完成日を記入
※工事完成通知書に記載した年月日

所在地

受注者 商号又は名称

代表者氏名

㊞

下記工事の検査試験成績書は、別紙一覧のとおりです。

記

工事名称

工事

建物・設備維持管理注意事項作成上の留意点

※書類名称（表題）は、一括発注の場合は”建物・設備維持管理注意事項”とする。

分離発注の場合の建築工事は、「建物維持管理注意事項」

電気設備工事は、「電気設備維持管理注意事項」

空調・衛生設備工事は、「機械設備維持管理注意事項」

※その他工事は、これらにならう。

※維持管理注意事項内容は、別紙ファイリングとする。

●まとめ方

- ・建物概要（次ページ雛形あり）
- ・建物一般の注意事項（雛形なし、各施工者の会社が発行している説明書
及び本工事における特別な事項を添付する）
- ・各機器の取扱説明書（機器承認図を別冊ファイルで添付する）

建物・設備維持管理注意事項

令和 年 月 日

(宛先) 伊勢崎市長

完成日を記入
※工事完成通知書に記載した年月日

所在地

受注者 商号又は名称

代表者氏名

印

下記工事の完成引渡後は、別冊建物・設備維持管理注意事項を熟読の上管理してください。

記

工事名称

工事

建物概要

建 物 名 称
 発 注 者
 建 築 場 所
 地 域 ・ 地 区 指 定
 設 計 ・ 監 理

受 注 者
 建築
 電気
 空調
 衛生

工 期

建 物 概 要

面積	敷地面積	m ²		
	建築面積	m ²	(建ぺい率	%)
	延床面積	m ²	(容積率	%)
構造規模	構造種別			
	構造形式			
	階数			
	地業			
高さ	軒高	m		
	最高の高さ	m		
仕上	主な外装			
設備	電気			
	空調			
	衛生			

No.51

出荷証明書

出 荷 証 明 書

令和 年 月 日

(宛先) 伊勢崎市長

完成日を記入
※工事完成通知書に記載した年月日

所 在 地

受注者 商号又は名称

代表者氏名

印

下記工事の出荷証明書は別紙一覧のとおりです。

記

工 事 名 称

工 事

保証書作成上の留意点

※別紙「保証書一覧表」を添付する。

※責任施工業者の保証書を添付する。

※保証期間は、設計図書特記仕様書による。

※保証の開始日は完成引渡日からとする。

※保証の開始日は部分使用があっても完成引渡日からとする。

保証書

令和 年 月 日

(宛先) 伊勢崎市長

完成日を記入
※工事完成通知書に記載した年月日

所在地

受注者 商号又は名称

代表者氏名

印

下記工事の責任施工の保証内容は、別紙一覧のとおりです。

記

工事名称

工事

各種検査記録書作成上の留意点

- 受注者は、各種の完成検査の受験後3日以内に、書式に従って検査記録を作成し、提出する。
- 各種検査記録書の番号毎の指摘事項の部位を明確に出来るよう略平面図等を添付する。
- 手直し完了予定日迄記入する。
- 手直し完了報告書を提出し、監督職員の確認立会日を協議する。
- 手直し完了の確認は、監督職員（社内検査は検査者）が行い捺印を行う。
- 指摘事項なしの場合は、付記事項欄へ「指摘事項なし」と明記の上、『別紙記録書に・・・・・・完了致します。』を削除して提出する。

各種検査記録書
(完成・出来形・下・社内・その他)

工事名称	
検査名称	
検査年月日	令和 年 月 日
検査者	
立合者	
	<p>該当する検査項目毎に作成 ※該当する項目に○、若しくは該当しないものに取消し線</p>
付記事項	
	<p>指摘事項が特に無かった場合は、この文章を二重線で消す</p>
<p>別紙記録書に指摘された事項については、定められた期日迄に責任を持って手直しを完了致します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>現場代理人</p>	

令和 年 月 日

(宛先) 伊勢崎市長

(部 課)

住所

受注者 商号又は名称

代表者 氏 名

⑩

工事に伴う部分使用について

標記の件について、建設工事請負約款第34条の規定に基づき、当該工事に係る下記の部分使用について同意いたします。

記

1. 工事名称

2. 工事場所

3. 契約日 令和 年 月 日

4. 契約工期 令和 年 月 日～令和 年 月 日

5. 請負代金額 円

6. 使用部分

**使用部分のわかる図面を添付
(使用部分に着色等する)**

※別紙図面参照

No. 54

各種検査指摘事項完了報告書

消防署検査記録書

- 受注者は、各種の完成検査の受験後3日以内に、書式に従って検査記録を作成し、提出する。
- 完成検査記録書の番号毎の指摘事項の部位を明確に出来るよう略平面図等を添付する。
- 手直し完了予定日迄記入する。
- 手直し完了報告書を提出し、監督職員の確認立会日を協議する。
- 手直し完了の確認は、監督職員が行い捺印を行う。
- 消防署の検査記録書は所定の書式にしたがって作成する。
- 「消防署完成検査指摘事項完了報告書」は、検査記録書と共に監督職員へ提出する。
- 指摘事項なしの場合は、「指摘事項なし」と明記の上、提出する。

No. 56

消防署檢查指摘事項完了報告書

消防署検査指摘事項完了報告書

シートNo.55
指摘事項を記載する表の番号

工事名称	
検査年月日	令和 年 月 日
指摘事項	番号 指摘事項
手直し完了日	令和 年 月 日

手直し前

シートNo.55
指摘事項に記載の内容

写真

手直し後

写真

建築指導課検査記録書

- 受注者は、各種の完了検査の受験後3日以内に、書式に従って検査記録を作成し、提出する。
- 完了検査記録書の番号毎の指摘事項の部位を明確に出来るよう略平面図等を添付する。
- 手直し完了予定日迄記入する。
- 手直し完了報告書を提出し、監督職員の確認立会日を協議する。
- 手直し完了の確認は、監督職員が行い捺印を行う。
- 建築指導課の検査記録書は所定の書式にしたがって作成する。
- 「建築指導課検査指摘事項完了報告書」は、検査記録書と共に監督職員へ提出する。
- 指摘事項なしの場合は、「指摘事項なし」と明記の上、提出する。

No.58

建築指導課檢查指摘事項完了報告書

建築指導課検査指摘事項完了報告書

シートNo.57
指摘事項を記載する表の番号

工事名称	
検査年月日	令和 年 月 日
指摘事項	番号 指摘事項
手直し完了日	令和 年 月 日

手直し前

シートNo.57
指摘事項に記載の内容

写真

手直し後

写真

No.59

様式第20号(第17条関係)

検査結果通知書

年 月 日

受注者

様

参考

伊勢崎市長

印

下記のとおり検査の結果を通知します。

記

契 約 番 号		検 査 回 次	
工 事 名			
工 事 場 所			
完 成 年 月 日	年 月 日		
検 査 年 月 日	年 月 日		
検 査 結 果		評 点	
備 考			

完成引渡書

●受注者は検査に合格し、引渡しを行う時には完成引渡書を提出する。

※ 様式については、伊勢崎市ホームページ>産業・ビジネス>入札・契約・検査>
入札・契約情報>要綱・要領・様式等のデータをダウンロードして使用する。

完 成 引 渡 書

年 月 日

(宛先)伊勢崎市長

参考

住所
受注者
氏名

印

次の工事は、完成したので引き渡します。

契約書に記載されている工事場所

工 事 名	工事
工 事 場 所	伊勢崎市 町 番 号 番地・地内
請 負 代 金 額	金 円
工 期	年 月 日から 年 月 日まで 工事完成通知書に記載の完成日を記入
工事完成年月日	年 月 日 竣工検査日を記入 ※竣工検査合格→竣工検査日が引渡日になる
引 渡 年 月 日	年 月 日

竣工図作成上の留意点

※作成

- ・竣工図は設計図（原図）を修正して作成する。
- ・大幅な変更が生じ、設計図修正が不可能な場合は、新規作成とする。
- ・表現方法は、設計図にならって作成する。

※記入事項

- ・記入漏れの無いことを確認する。
- ・埋設配管等隠蔽されてしまう工事は、位置、寸法、深さを正しく記入する。
- ・指定製造会社及び施工会社リスト欄には使用した資材、業者名を

しかく

 で囲む

※製本

- ・提出部数及び製本のサイズは設計図特記仕様書の記載の通り。
- ・製本の背及び表紙は雛形による。

※提出

- ・提出は、工事完成引渡し後1カ月以内とする。

完成写真作成上の留意点

※提出

- ・提出部数は契約協議書記載の通り。
- ・提出日は、工事写真については工事完成の日までに、完成写真については、完成後1カ月以内に提出する。

機器完成図の留意点

※作成

- ・各工事別にファイリングする。
- ・機器の性能試験表を添付する。

※提出

- ・部数は監督職員の指示による。
- ・提出日は、完成引渡し日とする。

竣工図製本の表紙及び背の雛形

令
 和
 ○
 ○
 年
 度
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 工
 事

 設 監 施
 計 理 工
 ○ 伊 ○
 ○ 勢 ○
 ○ 崎 ○
 ○ 市 ○
 ○ 建 ○
 ○ 設 ○
 ○ 部 ○
 ○ 建 ○
 ○ 築 ○
 ○ 課 ○

令和○○年度

工 事 名 称

竣 工 図

工期 着工日 令和 年 月 日
 完成日 令和 年 月 日

設 計 ○○○○○○○○○○○
 監 理 伊勢崎市建設部建築課
 施 工 ○○○○○○○○○○○

